

長尾山総合公園施設整備設計業務委託 特記仕様書

1. 業務の目的

本業務は、長尾山総合公園における豊かな生物多様性を保全し、また、来訪者が自然との触れ合いを通して生物多様性への意識醸成を図る、ネイチャーポジティブ公園としての役割を果たす施設（広場、駐車場）の整備を目的とした、基本計画および基本設計の策定、工事発注のための実施設計図書の作成を行うものである。

また、施設整備においては、本公園内の景観及び自然環境との調和に配慮し、来訪者の利用動線や、動植物への影響を考慮した上で、公園機能の更なる充実を目指す。

2. 委託場所

勝山市村岡町寺尾 長尾山総合公園

3. 業務の概要

(1) 設計業務対象面積16,000m²

広場：12,000m²、駐車場：4,000m²

4. 業務内容

本業務は、本公園の施設整備の詳細設計を行うものであり、関係法令等を遵守するとともに、勝山市緑の基本計画をはじめとする関連計画及び施策等との整合性を図り、業務を行う。

(1) 基本計画

与条件及び調査結果を基に、本公園のコンセプトに合致した基本計画を策定する。

ア. 現況把握

(ア) 計画条件の把握と整理

(イ) 上位関連計画や各種関連資料の収集と整理

(ウ) 現地調査（計画対象地およびその周囲）

イ. 敷地分析

(ア) 計画対象地と周辺の地形や土地利用との関係整理

(イ) 計画対象地内の植生・地形・土地利用等の詳細整理

ウ. 計画内容の検討および設置

(ア) 基本方針の検討と設定

(イ) アクセスや動線の検討と設定

(ウ) 環境の保全と創出に関する検討と設定

(エ) 空間構成の検討と設定

(オ) 整備水準の検討と設定

(カ) 維持管理方法の検討と設定

工. 基本計画図の作成

(ア) 基本計画平面図の作成 (1/500)

※取りまとめ結果は、実施設計説明書に整理・記載のこと。

また、策定にあたり、以下の方針を参考とすること。

【景観方針】

広場および駐車場は、本公園内の豊かな自然環境や景観との調和に配慮することはもとより、県立恐竜博物館や建設中のホテル等、既存の建物や周辺環境との親和性を十分に意識した、上質で一体感のある景観・デザインの基本方針を検討すること。

【マルチユース方針】

広場について、通常時の広場利用だけでなく、ピーク時の混雑緩和（繁忙期の臨時駐車場転用）、冬期の積雪時におけるスノーアクティビティの利用やその際の除雪効率、および多様なシーズンイベント（賑わい創出コンテンツ）への柔軟な転用を考慮したマルチユース（多目的）な空間活用計画とすること。

【将来インフラ方針】

将来的な生物多様性を体感するイベントへの備え、駐車場管理のIT化・適正化、自主事業（イベント、キッチンカー等の出店）の展開を見据え、主要ルートへの空配管等の埋設位置、電気・通信・給排水等のインフラ設備の配置場所について市担当職員および指定管理者と協議の上、方針を決定すること。

【既存施設の扱い】

敷地内に既存する倉庫及び作業場の扱いについては、将来的な「移転（撤去）」を前提としつつも、確定するまでは現状のまま残す（現状維持）計画として整理すること。

【獣害・安全対策】

本公園がツキノワグマの生息域に隣接している特性を考慮し、来訪者の安全確保および事故防止のためツキノワグマが出没しにくい空間レイアウト（見通しラインの確保、藪の適切な刈り払い計画）や、動物を誘引する果実植物を避けた植生選定等を計画に反映させること。

(2) 基本設計

基本計画を基に、施設の景観や意匠、利用時の動線等を検討・設定すること。

ア. 与条件の細部検討

(ア) 現地詳細調査（計画対象地とその周囲）

イ. 諸施設の検討および設定

(ア) 敷地、施設容量からみた利用者数の検討と設定

(イ) 空間構成、景観、意匠等に関する基本方針の検討と設定

ウ. 基本設計図の作成

(ア) 実測平面図に基づいた基本設計平面図の作成 (1/500)

※取りまとめ結果は、実施設計説明書に整理・記載のこと。

また、検討・設定にあたり、以下の方針を参考とすること。

【広場整備における留意点】

広場整備の対象となる敷地の樹木に関しては、健全性や樹形、樹勢を考慮した上で可能な限り保存すること。保存する樹木の位置関係や、既設園路との動線等についても十分検討し、来訪者が利用しやすい空間となるようにすること。

また、繁忙期の臨時駐車場運用時を想定し、「車が入るルート」と「人が歩くルート」を明確に分けた、安全な歩車分離のレイアウト設計を行うこと。

(3) 実施設計

策定された基本計画及び基本設計を基に、工事発注に向けて、下記項目の検討・設定、実施設計図の作成等を行う。

ア. 与条件の確認および調査

- (ア) 与条件や基本設計の把握と整理
- (イ) 適用設計条件や設計基準の確認
- (ウ) 関連機関との調整内容の確認
- (エ) 現地細部確認調査（計画対象地中心）

イ. 実施設計の検討

- (ア) 基本設計内容の整合性確認
- (イ) 意匠性、芸術性、独自性に関する検討と設定
- (ウ) 安全性、機能性に関する検討と設定
- (エ) 施工性、市場性に関する検討と設計
- (オ) 維持管理性に関する検討と設定
- (カ) 既存施設の保存、撤去、再利用に関する検討と設定
- (キ) 目標工事費との調整

ウ. 実施設計図の作成

- (ア) 実測平面図に基づいた実施設計平面図の作成（1/500）
- (イ) 造成平面図の作成（1/500）
- (ウ) 施設平面図の作成（1/500）
- (エ) 造成断面図の作成（1/100）
- (オ) 排水縦断図の作成（1/100）

※各図面の作成にあたっては、基本計画・基本設計で策定・検討した「周辺環境・ホテル等と調和する上質な景観デザイン」「マルチユースな空間活用」「将来インフラ（電気・通信・給排水）の配管位置」「ツキノワグマ等の獣害・安全対策（見通しライン・植生選定）」「安全な歩車分離レイアウト」及び「路盤補強・雨水流出対策構造」を反映すること。

また、検討・設定にあたり、以下の事項を参考とすること。

【広場の路面整備】

広場を繁忙期等に臨時駐車場として転用・運用することを見据え、自動車の荷重や旋回に耐えうる路盤補強（緑化ブロックや砕石補強など）、および車両進入時のタイヤの

ひねりに強い芝生・舗装材（環境に配慮した資材）の選定・構造検討を行うこと。その際、供用開始後の修繕・メンテナンス頻度を減らし、将来的な維持管理費用の負担軽減（ライフサイクルコストの低減）に配慮する等、最も経済的かつ耐久性の高い工法・資材を十分比較検討すること。

なお、広場整備にあたっては、雨天時の排水等を十分考慮した上で、必要な施設についても検討・設計を行うこと。

エ. 数量計算

実施設計図を基に、数量計算ならびに材料計算を行い、公園工事工種体系ツリー図（国土交通省）に則って整理する。

オ. 概算工事費の算出

公共単価の無い材料については、3社以上の見積もり徴集を行い、見積り一覧表として整理し、公共単価、見積り単価を基に概算工事費の算出を行う。また併せて工事発注時の特記仕様書(案)も作成する。

カ. 実施設計説明書の作成

上記検討資料を取りまとめた報告書の作成（基本計画、基本設計の内容についても整理し、記載すること）

キ. 照査

業務の主要段階において照査を行う。照査の内容は次のとおりとする。

- （ア）基礎情報や敷地情報の把握と設計計画の適正について
- （イ）設計方法や設計手法の妥当性について
- （ウ）成果品の内容の適正について

（4）鳥瞰図等の作成

広場及び広場周辺施設（園路等）を含めた鳥瞰図及びアイレベルからのイメージをA3サイズ各1枚（着色仕上げ）ずつ作成する。

※作成にあたっては、基本計画・基本設計で固めた豊かな自然環境や景観との調和、県立恐竜博物館や建設中のホテル等、既存の建物や周辺環境との親和性と上質で一体感のあることが視覚的に伝わるクオリティとすること。

（5）打合せ・協議

業務の前段、主要な区切りにおいて、監督員及び関係者と打合せ・協議を行う。打合せは、業務着手時、中間打合せ（3回）、成果納入時とし、業務着手時又は業務計画書作成時及び業務完了時には原則として管理技術者が立会うものとする。

また、各フェーズ（基本計画及び基本設計、実施設計）において、発注者・受注者・

指定管理者にて打合せを行い、指定管理者の管理運営上のニーズを把握し、受注者は、業務を履行する中で、発注者が指定管理者との協議にあたり必要な設計内容の検討等の資料を提供することとする。また、指定管理者から要望のあった事項については、設計上の対応方針（反映・不反映の理由）を打合せ簿に記載し、上記協議時の資料として提出すること。

（6）その他

本特記仕様書に記載なき事項については、市担当職員と協議すること。

また、本業務にて設計した公園施設において、各種法令・条例等による施工前後の申請や届出等の要不要について、別紙1「建設工事 関係法令チェックリスト」を参考に、関係機関及び発注者と協議・確認を行い、申請や届出等が必要な場合は、必要となる書類の作成も併せて行うこと。

5. 納入成果品

本業務の納入成果品は以下のとおりとする。

（1）報告書 1部

実施設計説明書（基本計画・基本設計の内容含む） 1式

各種数量計算書 1式

工事費算出書 1式

照査報告書 1式

（2）設計図（基本計画図及び基本設計図、実施設計図） 1部

（3）鳥瞰図等 1式

（4）その他、監督員が指示するもの 1式

（5）成果電子データ 1式

※図面データに関しては、データ形式が PDF と本市が使用している【JW-WIN・IJCAD (Civil2021)】との互換性が良いデータとする。